

歯学研究科アドミッション・ポリシー

<博士課程>

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、歯学研究科では、生命科学基礎研究から先端的な診断・治療技術の開発に至る、口・顎・顔面領域に基盤をおいた高度な科学への探究心と、歯学研究・歯科医療分野における次世代のリーダーを目指す意欲に満ちた、以下のような資質をもつ人を受け入れます。

- (1) 歯科医学、生命科学を愛し、歯科医療に対する真摯な姿勢と使命感をもつ人
- (2) 最先端の知識と技術の修得に必要な洞察力と精神力をもつ人
- (3) 意欲と好奇心に満ち、自由なイマジネーションに富む人
- (4) 目的意識と向上心に溢れた自立心の強い人
- (5) 積極的に世界レベルでのコミュニケーションを望む人
- (6) 自らのキャリアパスを模索し、未来の自分を「創造」する人

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と社会人特別選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、外国人留学生特別選抜を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(1)及び(6)を重視した評価を行います。筆記試験(外国語)により(5)に関する能力を評価し、筆記試験(専門科目)により(1)及び(2)に関する能力を評価し、面接試験により(1)、(2)、(3)、(4)、(6)に関する能力を評価します。
2. 社会人特別選抜では、特に(1)及び(3)を重視した評価を行います。筆記試験(外国語)により(5)に関する能力を評価し、面接試験により(1)、(2)、(3)、(4)、(6)に関する能力を評価します。
3. 外国人留学生特別選抜では、特に(1)及び(2)を重視した評価を行います。筆記試験(外国語)により(5)に関する能力を評価し、志望理由書と面接試験により(1)、(2)、(3)、(4)、(6)に関する能力を評価します。